

## 2三 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

条件2 「例えば、」に続けて書くこと。

条件1 「農林水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎカッコ「」でくくって書いている。

条件1と条件2にしたがって書きなさい。  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの「コメントの一部」を踏まえて、  
「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、  
「スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の  
条件1と条件2にしたがって書きなさい。」  
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしても  
かまいません。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なが増えてよと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思ふ。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業について話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父母に、他に取入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取入っていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちが意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していこう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野  
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村  
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

**スマート農業について**

**「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」**

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。  
 →「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0の実現」  
※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

**スマート農業の効果**

- ① 作業の自動化  
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化  
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用  
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

（農林水産省ウェブページによる。）

### ■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕知識及び技能 (2)情報の扱い方に関する事項

イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。《情報の整理》

### ■正答(の条件)及び正答率等

| 正答   | 正答率   | 誤答率   | 無答率  |
|--|-------|-------|------|
| (正答の条件)<br>次の条件を満たして解答している。<br>① 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から適切な情報を抜き出して書いている。<br>② 引用する部分をかぎカッコ「」でくくって書いている。<br>③ 「例えば、」に適切に続くように書いている。 | 44.2% | 48.1% | 7.7% |

### ■主な誤答とその要因

| 主な誤答   | 要因  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>引用した部分を「 」でくくることができていない。</li> <li>「 」でくくった部分が資料から、改変されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>引用の仕方を理解できていない。</li> <li>もとの文章を変えず、正確に抜き出すことやかぎカッコでくくることが等の意味を理解できていない。</li> </ul> |

## 内容の系統と指導のポイント

小学校第5・6学年

目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書かせる

平成31年度全国学力・学習状況調査（小学校）

①三 【3 調査の結果をもとに考えたこと】の□に、【2 調査の内容と結果】で分かったことを条件に合わせて書く。

〈正答〉

書き出しの言葉に続けて、公衆電話は「けいたい電話を使うことができないとき」、「きん急のとき」にも使うことができることを理由に取り上げ、敬体で書いている。

正答率56.3% 誤答率41.1% 無答率2.6%

〔第5学年及び第6学年〕B 書くこと  
ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

中学校第1学年

文章の内容に応じて、根拠を明確にして自分の考えを書かせる

平成25年度全国学力・学習状況調査 B問題

②三 本文を引用し、自分の感じたことや考えたことを書く。

〈正答〉

「今の社会は忙しく、健康管理が難しいので『常に栄養のバランスがたもたれ』た生活はうらやましい」等、引用した本文についての考えを根拠を明確にして書いている。

正答率65.7% 誤答率23.7% 無答率10.6%

〔第1学年〕B 書くこと  
ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること

中学校第2学年

自分の考えが読み手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書かせる

令和2年度全国学力・学習状況調査（中学校）

③ 【創作している俳句】の□に入れる言葉を【言葉の候補】から選び、どのような心情が表現できるかを【辞典の記述】の意味もとに書く。

〈正答〉

『ほろほろ』にだけ『音もなく』という意味があり、卒業式の厳かな雰囲気の中で静かに涙を流す様子を表現できると思ったからだ」等、辞典の記述を根拠に自分の考えを書いている。

正答率－% 誤答率－% 無答率－%（実施なし）

〔第2学年〕B 書くこと  
ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて接写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

本設問の活用の手順

- ① 根拠となる事例や知見を適切に引用するなどして自分の考えが伝わる文章が書けるよう、新聞に意見文を投書する活動を設定し、意見文の下書きを作成させる。
- ② 意見文の下書きを個人で作成した後、根拠となる引用に着目してグループで読み合い、引用の正確さや考えを支えるために必要な情報が引用されているかを検討させる。
- ③ グループで検討した内容を基に、意見文を完成させる。